

生涯学習

次に、「生涯学習都市」の実現であります。
本年も、市民のニーズを的確に把握し、これまで積極的に整備してきた生涯学習施設・学習環境を核として、平成5年度より継続開催しております「生涯学習フェスティバル」の啓蒙を通じて、市民の学習活動や学習成果の活用を総合的に支援し、地域の個性を生かした生涯学習の推進に努めてまいります。

市制施行50周年記念事業

また、本市は、平成16年4月に市制施行50周年を迎えることとなります。
この記念事業は、本年8月から平成16年7月までの1年間を事業期間として実施してまいります。
現在計画しております記念事業は、本年8月に開催予定の「第55回全日本学生新体操選手権大会」をはじめ、宮内庁「雅楽」公演、NHK「のど自慢」の開催、将来白石を担う子供たちによるワークショップ「自分たちで創ってみよう未来のまちしろいし」事業、「記念式典」、そして白石の50年の出来事を記録にとどめる「記念年表」の作成など、各種記念事業を実施する計画となっております。

これらの記念事業は、「新ホワイトプラン」に掲げております「市民

と行政のパートナーシップによるくらし日本一のまちづくり」を実現すべく、市民が参画・参加する「実行委員会」を組織しながら実施していくことを計画し、市民とともに感動を共有しながら記念事業を実施してまいります。

保健・福祉・医療

次に「健康・福祉都市」の実現を目指しまして、昨年、新公立刈田総合病院がオープンし、救急医療体制も整い、福祉の里とのネットワークも強化され「保健・福祉・医療」の一体化がより強固なものとなっております。

また、市内本町地区にオープンいたします介護保険対応のデイサービスセンターについては、利用待機者の解消および利用者の身体機能の向上と、家族介護者の負担軽減を図ってまいります。



▲生涯学習に取り組む市民の祭典「公民館まつり」

さらに、鷹巣地区区画整理地内に建設いたしました、高齢者や障害者に配慮した公営住宅、いわゆるシルバーハウジングは、全体の戸数を18戸とし、そのうちシルバーハウジングは、高齢者単身世帯4戸、高齢者夫婦世帯4戸、障害者世帯4戸の計12戸で、手すりの設置や障害者に合わせた段差の解消など住宅のバリアフリー化を図るとともに、ライフサポートアドバイザー、いわゆる生活援助員による入居者に対する安否の確認、生活相談、緊急時の対応、疾病時の一時的家事援助などの生活支援を行い、ハード・ソフトの両面から福祉サービスを提供し、入居者をサポートしてまいります。

保健事業としては、市民の健康寿命の延伸と生活の質の向上を図るための、目標値を設定する健康プランを策定いたします。
また、毎年確実に増加する高齢者



▲高齢者や障害者に配慮した公営住宅「シルバーハウジング」（鷹巣）

教育

具体的には、昨年6月に施行されました男女共同参画社会推進条例に基づき、基本計画を策定しながら市職員、事業所ならびに市民への意識啓発を重ねて実施し、男女共同参画社会の実現に向けての気運をさらに広く醸成してまいります。

次に教育であります。障害児教育の充実のため、白石第二小学校に角田養護学校白石校が4月開校のこびとなりましたので、小学部卒業後も引き続き当市内で教育が受けられるよう、白石中学校に同校中等部の設置を目指してまいります。
さらに、平成14年度からの完全学校週五日制や総合学習などの教育改革を進めるにあたって、市内公共施設の小・中学生への土・日無料開放の範囲をさらに広げ、仙南二市七町の公共施設の無料開放や、地域の特色を生かした教育活動推進の支援を引き続き行ってまいります。

防災

次に、防災関係でございますが、安心して暮らせる生活環境を維持するため、災害対策基本法に基づき、「白石市地域防災計画」を修正し、防災関係機関との防災体制の連携強化を図り、行政・市民・事業所などが一体となった計画的かつ柔軟な災害予防の推進を図ってまいります。
また、本年四月に本市を会場とし



▲男女共同参画社会に向けての活動拠点となる「ふれあいプラザ」（本町）

て、山林火災を想定した林野火災防御訓練を宮城県との共催で実施し、予測できない災害に対する備えを整え、災害に強いまちづくりに努めてまいります。

土地分類細部調査

次に、土地分類細部調査についてであります。本年度は事業最終年度でありまして、昨年度に引き続き国土交通省の補助を受けながら、事業の仕上げをしてまいります。

次に、商工業・観光振興市が策定した「白石市中心市街地活性化基本計画」に基づき、市街地に賑わいを取り戻すため、住民主導型で立ち上げたTMOや若手事業者グループが行う各種商店街活性化事業に対して、充分計画を検討の上支援してまいります。

国際交流

さらに、雇用・経済対策につきましては、本市独自の「再就職促進奨励金」や「緊急新卒者雇用対策事業」を継続、市制度融資限度額二千万円の延長、保証料の全額を補給いたしてまいります。
観光面ではありますが、みやぎ蔵王白石スキー場は、本年度においても辺地債を受けながら整備を行ってまいります。

国際交流につきましては、姉妹都市であるハーストビル市との交流のほか、宮城県とイタリア・ローマ県が姉妹県交流を行っている関係で、宮城県から親善交流の推薦があったイタリア・アナーニ市より、中世およびルネッサンスフェスティバルへの参加要請があり、日本舞踊、尺八横笛、三味線などの関係者約15名を派遣するとともに、15年度来白予定



▲文化交流団が訪問する「ローマ法王の町」イタリア・アナーニ市の旧市街

市町村合併

市町村合併に関しましては、本年1月29日に白石市、蔵王町、七ヶ宿町による共同研究会を設立しており、今後は市民への判断材料の提供をしてまいります。

産廃処分場建設計画の白紙撤回

以上、平成15年度の重点事業については今まで述べたとおりであります。最後に小原上戸沢産廃処分場計画問題については、住民、議会、行政が一体となり、本市独自の「水道水源保護条例」を含め、今後あらゆる手段をもって本計画に対抗し、上戸沢地区の産廃処分場建設計画が白紙撤回されるまで、粘り強い運動を継続展開してまいります。

本年は、市制施行50周年を目前とした新たな時代の幕開けとなる年であり、「市民と行政のパートナーシップ」によるくらし日本一のまちづくり「実現への、更なる飛躍の年でもあります。
今後とも、市行政全般に対する、なお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。



▲乳幼児のこたばの発達について学んだ「子育て講演会」（健康センター）